

条件や理由を添えて自分の考えを説明する表現、申し出や義務などを表す時の表現を学ぼう。

2-1 Key Point

◆ ‘条件・仮定’を表す接続詞 if

聞いてみよう p.23 Basic ①, ②

例文 ① If you like this picture, I'll give it to you.
= I'll give this picture to you if you like it.

POINT

■接続詞 if は「もし…ならば」という意味で、‘条件・仮定’を表す。

① If you like this picture, I'll give it to you.
従節 主節

(訳 もしこの絵〔写真〕が気に入っているのなら、あなたにあげましょう。)
接続詞 if が導く節は、主節を修飾する副詞のはたらきをする(副詞節)。
if が導く節は主節の前にも、あとにも置くことができる。

◀ if は節と節を結びつける
従位接続詞。

① ‘条件’を表す副詞節中の動詞の形

‘時’を表す副詞節と同様に、‘条件’を表す副詞節の中でも、未来のことを現在形で表す。(参照 p.6)。
Let's go cycling if it is fine tomorrow. (明日天気がよければ、サイクリングに行きましょう。)
(×) Let's go cycling if it will be fine tomorrow.

① 〈命令文, and ...〉, 〈命令文, or ...〉の文と if を用いた文

〈命令文, and ...〉, 〈命令文, or ...〉で表される内容は、接続詞 if を使った文で表すことができる。

Hurry up, **and** you'll catch the bus. (急ぎなさい、そうすればバスに間に合いますよ。)
= **If you hurry up**, you'll catch the bus. (急げば、バスに間に合うでしょう。)
Hurry up, **or** you won't catch the bus. (急ぎなさい、そうしないとバスに間に合いませんよ。)
= **If you don't hurry up**, you won't catch the bus. (急がなければ、バスに間に合わないでしょう。)

◆ ‘原因・理由’を表す接続詞 because

聞いてみよう p.23 Basic ③

例文 ② My bag is heavy **because** I have three dictionaries in it.
③ Why is Jane angry? — **Because** I didn't call her.

POINT

■接続詞 because は「…なので、…だから」という意味で、‘原因・理由’を表す。
■Why ...? に対して、「…だからです」と理由を答える時には、because を用いる。

② My bag is heavy **because** I have three dictionaries in it.
結果 原因・理由

(訳 かばんの中に辞書が3冊あるのでかばんが重いです。)
接続詞 because が導く節は主節の前にも、あとにも置くことができる。

③ Why is Jane angry? — **Because** I didn't call her.
(訳 ジェーンはなぜ怒っているのですか。一私が電話しなかったからです。)
Why ...? (なぜ…) に対して、「…だからです」と‘理由’を答える時には、主節を省略して、〈Because + 主語 + 動詞 …〉を用いる。

◀ because は節と節を結び
つける従位接続詞。

◆ ‘譲歩’を表す接続詞 though, although

聞いてみよう p.23 Basic ④

例文 ④ Though (Although) Mary was very tired, she practiced the piano.
= Mary practiced the piano, **though** (although) she was very tired.

POINT

■接続詞 though (although) は「…だが、…だけれども」という意味で、‘譲歩’を表す。

④ Though (Although) Mary was very tired, she practiced the piano.

(訳 メアリーはとても疲れていましたが、ピアノの練習をしました。)
接続詞 though, although が導く節は主節の前にも、あとにも置くことができる。

◀ though と although は
同じように使うことができ
る。although の方がやや堅
い言い方。

2-2 Key Point

◆ 接続詞 that

聞いてみよう p.25 Basic ⑤, ⑥

例文 ⑤ I know **that** his mother can speak Spanish.
⑥ I hear **that** your father is in the hospital.
⑦ Do you think **that** Bob will come to the party?
— Yes, I do. / No, I don't.

POINT

■接続詞 that は「…ということ」という意味を表す名詞節を導く。
■that が導く名詞節は、他動詞 know や think などの目的語になる。

⑤ I know **that** his mother can speak Spanish.

主語 動詞 目的語

(訳 私は彼のお母さんがスペイン語を話せることを知っています。)

⑥ I hear **that** your father is in the hospital.

(訳 あなたのお父さんは入院されているそうですね。)

従位接続詞 that に導かれる節は〈that + 主語 + 動詞〉の形で「…ということ」という意味を表す。

〈that + 主語 + 動詞〉は全体で名詞のはたらきをし(=名詞節)、他動詞 know, think, hear, say, hope, believe などの目的語になる。

◀ that は、代名詞のほか
に、従位接続詞としても用い
られる。
◀ 英文中で名詞と同じはたら
きをする節を名詞節という。
名詞節も、それだけでは文が
成り立たない従節である。

POINT

■〈that + 主語 + 動詞〉の名詞節を目的語にとる動詞の疑問文は、主節のみを疑問文にする。

I think **that** Bob will come to the party.

⑦ Do you think **that** Bob will come to the party?

疑問文の語順

語順は変わらない

(訳 ボブはパーティーに来ると思いますか。)

Yes, I do.

(訳 はい、思います。)

No, I don't.

(訳 いいえ、思いません。)

「…だと思いますか」や「…ということを知っていますか」のように、that 節を含んだ文を疑問文にする場合には、主節が疑問文の語順になる。

that 節内の語順〈that + 主語 + 動詞〉は変わらない。

◀ 答えの文は、ふつうの Do
you ...? などの疑問文と同じ
ように、Yes / No で答える。

①「…ではないと思う」と言う時

英語では結論を先に述べるという傾向がある。そのため「…ではないと思う」と言う時は、否定語を先に出して、that 節ではなく主節の think を否定するほうが一般的。

I don't think that you are wrong.

(私はあなたが間違っているとは思いません [あなたは間違っていないと思います]。)

◆ 接続詞 that の省略

解いてみよう p.25 Basic ③

例文 ⑧ I think (that) you know the answer to that question.

POINT

■動詞の目的語になる〈that + 主語 + 動詞〉の that はよく省略される。

⑧ I think you know the answer to that question.

↑ that が省略されている

(訳 私は、あなたはその質問の答えを知っていると思います。)

動詞の目的語になる〈that + 主語 + 動詞〉の that は、省略されることが多い。that が省略されても文の意味は変わらない。

◀ that が省略されている場合、目的語となる名詞節を正しく見分けることが大切。

◆ 時制の一致

解いてみよう p.25 Basic ④

例文 ⑨ I thought (that) Robert was in Sydney then.

⑩ Janet said (that) she would be very busy.

POINT

■主節の動詞の時制が過去の時は、従節の動詞の時制も過去になる。

I think (that) Robert is in Sydney now.

↓ 過去形に

↓ 過去形に

⑨ I thought (that) Robert was in Sydney then.

(訳 私は、ロバートはその時シドニーにいたと思いました。)

⑩ Janet said (that) she would be very busy.

(訳 ジャネットは、とても忙しくなるだろうと言いました。)

主節の動詞が過去形の時は、原則として従節の動詞も過去形になる。これを「時制の一致」という。

◀ 従節に助動詞が含まれる時は、助動詞が過去形になる。

◀ 助動詞の過去形

can → could [kəd / kʊd]

will → would [wəd / wʊd]

① 時制の一致の例外

従節の内容が、不変の真理・格言を表す時や、現在の習慣・事実を表す時は、時制の一致の原則に従わないことがある。この場合、主節の時制が過去でも、従節の時制は現在のままで表す。

Mr. Kato often said that practice makes perfect. (格言)

(加藤先生はよく「習うより慣れよ」と言いました。)

Mark said that he lives with his family. (現在も当てはまる事実)

(マークは家族と一緒に住んでいると言いました。)

2-3 Key Point

◆ 助動詞を用いた会話表現

解いてみよう p.27 Basic ①, ②

例文 ⑪ Shall we go to the library after school?

— Yes, let's. / No, let's not. Let's play soccer in the schoolyard.

⑫ Shall I open the window? — Yes, please. / No, thank you.

⑬ Will you check it on the Internet? — OK. / I'm sorry, but I can't.

⑭ Will you have some more tea? — Yes, please. / No, thank you.

POINT

■助動詞 shall は、「提案・勧誘」や「申し出」を表すのに用いられる。

⑪ Shall we go to the library after school?

(訳 放課後に図書館へ行きませんか。)

Yes, let's.

(訳 はい、そうしましょう。)

No, let's not. Let's play soccer in the schoolyard.

(訳 いいえ、やめておきましょう。校庭でサッカーをしましょう。)

⑫ Shall I open the window?

(訳 窓を開けましょうか。)

Yes, please.

(訳 はい、お願いします。)

No, thank you.

(訳 いいえ、けっこうです。)

「(私たちが一緒に)…しませんか」という「提案・勧誘」を表すには、〈Shall we + 動詞の原形 …?〉を使う。「(私が)…しましょうか」という「申し出」を表すには、〈Shall I + 動詞の原形 …?〉を使う。

◀ Shall we …? や Shall I …? に答える時には shall は使わない。

◀ 「提案・勧誘」は Let's … / Why don't we …? などでも表すことができる。

POINT

■Will you …? は「依頼」や「勧誘」を表す場合にも用いられる。

⑬ Will you check it on the Internet?

(訳 インターネットでそれを調べてくれますか。)

OK.

(訳 いいですよ。)

I'm sorry, but I can't.

(訳 すみませんが、できません。)

⑭ Will you have some more tea?

(訳 もう少しお茶をいかがですか。)

Yes, please.

(訳 はい、お願いします。)

No, thank you.

(訳 いいえ、けっこうです。)

〈Will you + 動詞の原形 …?〉は「…してくれますか」という「依頼」を表すことができる。また、「…しませんか」という「勧誘」を表すこともできる。

◀ Will you …? を使った依頼は相手に断る余地を与えない強い言い方になるので、立場が上の人に対してはあまり使わない。

◀ will の代わりに would, could を用いて Would [Could] you …? とすると、ていねいな依頼の表現になる。

応答の表現

提案・勧誘を受け入れる場合	Yes, let's. / OK. / All right. など
提案・勧誘を断る場合	No, let's not. (別の提案) / I'm sorry, but ... (理由) など
依頼を受け入れる場合	Sure. / OK. / All right. / No problem. など
依頼を断る場合	I'm sorry [Sorry], (but) I can't. / I'm afraid I can't. など

◆ have to の用法

解いてみよう p.27 Basic ③, ④

例文 ⑮ We have to do our homework now.

⑯ David has to go there by eight in the morning.

⑰ I had to read the book twice.

⑱ You will have to get a textbook first.

⑲ You don't have to call John.

⑳ Do I have to buy a new ticket? — Yes, you do. / No, you don't (have to).

㉑ You should clean your room.

POINT

■〈have [has] to + 動詞の原形〉は、「…しなければならない」という意味で、「義務・必要」を表す。

⑮ We have to do our homework now.

(訳 私たちは今、宿題をしなければなりません。)

Check Key Point の確認

2-1 Basic

学習時間 20分

- 16 David **has to** go there by eight in the morning.
(訳 デイビッドは午前8時までにそこに行かなければなりません。)
- 17 I **had to** read the book twice.
(訳 私はその本を2回読まなければならませんでした。)
- 18 You **will have to** get a textbook first.
(訳 あなたはまず教科書を手に入れなければなら shouldn't でしょう。)
- 「…しなければならない」という「義務・必要」の意味は、must のほかに (have to + 動詞の原形) で表すことができる。現在の文で主語が3人称単数の時は (has to + 動詞の原形)、過去の文の場合は (had to + 動詞の原形)、未来の文の場合は (will have to + 動詞の原形) で表す。

POINT

- have to の否定文は (don't (doesn't ; didn't) have to + 動詞の原形) で表す。
- have to の疑問文は、do (does ; did) または will を主語の前に出す。

- 19 You **don't have to** call John.
(訳 あなたはジョンに電話する必要はありません。)
- have to の否定文は (don't (doesn't) have to + 動詞の原形) で、「…する必要はない」という「不必要」の意味を表す。過去の否定文は (didn't have to + 動詞の原形)、未来の否定文は (will not (won't) have to + 動詞の原形) で表す。
- 20 **Do** I **have to** buy a new ticket?
(訳 私は新しい切符を買わなければなら shouldn't ませんか。)
- Yes, you do. (訳 はい、そうしなくてはなら shouldn't ません。)
- No, you don't (have to). (訳 いいえ、その必要はありません。)
- 「…しなければなら shouldn't ませんか」という have to の疑問文は、do (does ; did) または will を主語の前に出して作る。
- 「義務・必要」を表す have to

	平叙文	否定文 (…する必要がない)	疑問文
現在	have (has) to	don't (doesn't) have to	Do (Does) ~ have to
過去	had to	didn't have to	Did ~ have to
未来	will have to	won't have to	Will ~ have to

① have to と must

- 肯定文、疑問文の have to と must はほぼ同じ意味で用いられることもあるが、次のような違いがあることに注意。
- 「周りの状況や規則などから客観的にそうする必要がある」と言う時 → have to を使う。
I **have to** be back in ten minutes.
(「寮の規則で門限があるので」私はあと10分で戻らなければなら shouldn't ません。)
 - 「話し手自身が考える義務・必要」を述べる時 → must を使う。
I **must** get up at five tomorrow morning.
(「登山に行きたいので」明日の朝は5時に起きなければなら shouldn't ません。)

POINT

- 助動詞 should は、「…すべきである」という意味で、「義務」を表す。

- 21 You **should** clean your room.
(訳 あなたは部屋を掃除すべきですよ。)
- 「…すべきである」という「義務」の意味は、助動詞 should を用いて表すこともできる。

- have to の発音
have to [hæftə]
has to [hæstə]
had to [hættə]
- must には過去形がない。
過去のことにについて述べる時は had to を使う。
- (×) will must のように助動詞を2つ並べることはできない。

- (must not + 動詞の原形) は、「…してはいけない」という「禁止」の意味を表し、「…する必要はない」という「不必要」の意味を表すことはできない。
- Must ... ? (…しなければなら shouldn't ませんか) に「いいえ」と答える時は、(No. 主語 + don't (doesn't) have to.) と表す。

① 「条件・仮定」を表す接続詞 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) もしコンサートのチケットを持っているのなら、一緒に行きましょう。
_____ you have a ticket for the concert, let's go together.
- (2) もし忙しくないのなら、宿題を手伝ってください。
Please help me with my homework _____ you are not busy.
- (3) もしあなたが私たちの町へ来たら、楽しい時を過ごせるでしょう。
_____ you come to our town, you will have a good time.

② 「条件・仮定」を表す接続詞 次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選んで書きなさい。

- (1) 明日天気がよかったら、釣りに行きましょう。
Let's go fishing (before / if) the weather is good tomorrow. _____
- (2) ペンが必要なら、私のを使ってもいいですよ。
(If / While) you need a pen, you can use mine. _____
- (3) 家に着いたら、電話します。
I'll call you (so / when / while) I get home. _____

③ 「原因・理由」を表す接続詞 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) 私は新しいスマートフォンを手に入れたのでとてもうれしいです。
I'm very happy _____ I got a new smartphone.
- (2) ジェーンは病気なので今日は欠席です。
_____ Jane is sick, she is absent from school today.
- (3) A : なぜあなたはしょっちゅう図書館へ行くのですか。
B : たくさん本を読みたいからです。
A : Why do you go to the library so often?
B : _____ I want to read a lot of books.

④ 「譲歩」を表す接続詞 次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選んで書きなさい。

- (1) 私は遅く帰宅しましたが、試験のために勉強しました。
I studied for the test, (but / though) I came home late. _____
- (2) その時計は高かったのですが、彼は買いました。
(Although / Because) the watch was expensive, he bought it. _____

2-1 Standard

学習時間 20分

1 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) 私が誕生日を忘れていたので、アンは腹を立てていました。
Ann was angry _____ I _____ her birthday.
- (2) もし明日雨ならば、私たちは家にいます。
We will stay home _____ it _____ rainy tomorrow.
- (3) ジョンが時間通りに着かなかったので、私たちは電車に乗り遅れました。
_____ John _____ arrive on time, we missed the train.
- (4) もし彼が来なければ、私たちはこのコンピューターを使うことができません。
We can't use this computer _____ he _____ come.

2 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) Hurry up, or you will be late for the party.
_____ you _____ hurry up, you will be late for the party.
- (2) Read this book, and you will find the answer.
_____ you _____ this book, you will find the answer.

3 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。

- (1) 消しゴムを持っていないのなら、この消しゴムを使いなさい。
Use this eraser (don't / have / if / you) one.

- (2) お金がなかったので、彼は映画を見に行きませんでした。
He didn't go to the movies (because / had / he) no money.

- (3) 雨が降っていましたが、彼らはキャンプに行きました。
They went camping, (it / though / was) raining.

4 意味の通る英文になるように、最も適当な箇所にカッコ内の接続詞を入れて全文を書きなさい。

- (1) I'll play tennis with my sister it is fine tomorrow. 〈 if 〉

- (2) Shun is making dinner his mother is sick. 〈 because 〉

- (3) I finished my homework it was difficult. 〈 though 〉

- (4) What will you do you have free time tomorrow? 〈 if 〉

2-2 Basic

学習時間 20分

① 〈接続詞 that〉 次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選んで書きなさい。

- (1) 私たちは彼がフランス出身だということを知っています。
We know (and / if / that) he is from France. _____
- (2) ジョンがこのコンピューターを使うことができますか。
Do you think (because / or / that) John can use this computer? _____
- (3) 私は明日、晴れるとよいと思います。
I hope (if / that / when) it will be sunny tomorrow. _____

② 〈接続詞 that に導かれる節〉 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) 私はメアリーがとても親切だということを知っています。
I know that Mary _____ very kind.
- (2) あなたはリサが明日、バドミントンをすると思いますか。
Do you think that Lisa _____ badminton tomorrow?
- (3) 私の弟は納豆が好きだと言います。
My little brother _____ that he likes *natto*.
- (4) 私はあなたが元気であることを願っています。
I _____ that you are well.

③ 〈接続詞 that の省略〉 次の英文に that を補うとすれば、どこに補うのが適当ですか。その場所にハを書きなさい。

- (1) I think she enjoyed the party very much.
- (2) We know Jane can speak Spanish well.
- (3) I hear his brother is an actor.

④ 〈時制の一致〉 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を適当な形に変えなさい。

- (1) 私は、あなたは正しいと思いました。
I thought you (be) right. _____
- (2) ケンはサッカーの試合を見るつもりだと言いました。
Ken said he (will) watch the soccer game. _____
- (3) 私はあなたが駅で待っていると思いました。
I thought you (be waiting) at the station. _____

2-2 Standard

学習時間 20分

1 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) これらの花はとても美しいと私は思います。

I _____ these flowers are very beautiful.

- (2) 彼は、私が泳げないことを知っています。

He _____ I can't swim.

- (3) ジャネットは、自分はその仕事ができると信じていました。

Janet believed that she _____ the job.

- (4) 私は彼が医者だと思いました。

I thought that _____ a doctor.

2 例にならって、次の文をカッコ内の語句のあとに続けて1つの文に書き換えなさい。

例 He is a teacher. (I think)

→ I think that he is a teacher.

- (1) Canada is a large country. (Do you think)

- (2) My brother lives in Akita. (Ken doesn't know)

- (3) Mark is free. (I knew)

- (4) Nancy will come to the party. (I thought)

3 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。

- (1) その男性は30歳だと聞いています。

We (hear / is / the man) thirty years old.

- (2) 私たちはパリに行けるといいなと思っています。

We hope (can / that / we) go to Paris.

- (3) あなたはこの映画がおもしろいと思いましたか。

Did you (that / think / this movie) was interesting?

- (4) 私は、マイクはここには来ないだろうと思いました。

I didn't think (come / Mike / would) here.

2-3 Basic

学習時間 20分

① 〈‘提案・勧誘’や‘申し出’を表す表現〉 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) A: コーヒーを入れましょうか。 B: はい、お願いします。

A: _____ I make some coffee for you? B: Yes, please.

- (2) A: テレビを見ませんか。 B: いいえ、やめておきましょう。音楽を聞きましょう。

A: _____ watch TV?

B: No, let's not. Let's listen to music.

② 〈‘依頼’や‘勧誘’を表す表現〉 次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選んで書きなさい。

- (1) A: ここに名前を書いてもらえますか。 B: わかりました。

A: (Shall / Will) you write your name here? B: Sure. _____

- (2) A: もう少しパンをいかがですか。 B: はい、お願いします。

A: Will (I / you) have some more bread? B: Yes, please. _____

- (3) A: ドアを開けてくれますか。 B: いいですよ。

A: (May / Will) you open the door? B: All right. _____

③ 〈‘義務’や‘必要’を表す表現〉 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) 私はこれらの本を読まなければなりません。

I _____ to read these books.

- (2) 私の父は来月、新しい車を買わなければならないでしょう。

My father _____ have _____ buy a new car next month.

- (3) 私はスミス先生にメールを送らなければならませんでした。

I _____ send an e-mail to Ms. Smith.

- (4) 毎日朝食を食べるべきですよ。

You _____ breakfast every day.

④ 〈have to の否定文・疑問文〉 次の英文をカッコ内の指示にしたがって書き換える時、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

- (1) Mika has to stay home today. 〈否定文に〉

Mika _____ to stay home today.

- (2) I had to borrow a dictionary from Mary. 〈否定文に〉

I _____ to borrow a dictionary from Mary.

- (3) We have to help our teacher. 〈疑問文に〉

_____ we _____ to help our teacher?

2-3 Standard

学習時間 20分

1 次の対話文が成り立つように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

(1) A: Shall we go hiking tomorrow?

B: Yes, _____.

(2) A: Will you try *sashimi*?

B: No, _____. I don't like raw fish.

(3) A: Will you carry these boxes to my room?

B: _____ problem.

(4) A: Shall I wash the car?

B: Yes, _____. It's in front of the house.

2 次の日本語の意味を表す英文となるように、空所に適当な語を1語ずつ補い、全文を書きなさい。

(1) 私は今朝、駅まで歩いて行かなければなりませんでした。

I () () () to the station this morning.

(2) 今日の午後、一緒に日本の料理を作りませんか。

() () () Japanese food together this afternoon?

(3) 明日の朝9時に私に電話してくれますか。

Will () () () at nine o'clock tomorrow morning?

(4) 名前はインクで書くべきですよ。

You () () your name in ink.

3 次の英文を、カッコ内の指示にしたがって書き換えなさい。

(1) David meets Mr. Suzuki at the station at eleven o'clock.

〈「…しなければならない」という意味の文に〉

(2) I have to do my homework now. 〈疑問文に〉

(3) We play video games after school. 〈shallを使って「…しませんか」と相手を誘う文に〉

(4) Jane has to do her homework today. 〈否定文に〉

Step 1

学習時間 20分

1 次の対話文が成り立つように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

(1) A: _____ have lunch now?

B: Yes, let's. How about hamburgers?

(2) A: _____ help me with my homework?

B: I'm afraid I can't. I'm busy right now.

(3) A: _____ make some sandwiches for you?

B: Yes, please. I'm hungry.

(4) A: _____ Ann get up at five every day?

B: Because she practices tennis before school.

2 次の日本語の意味を表すように、空所に適当な語を1語ずつ入れなさい。

(1) 私たちは10時前に駅に到着しなければなりません。

We _____ at the station before ten o'clock.

(2) 私は来年、オーストラリアに行かなければなりません。

I _____ go to Australia next year.

(3) 赤と白を混ぜると何になりますか。

What _____ you get _____ you _____ red and white?

(4) 彼は90歳ですが、200メートル泳ぐことができます。

He can swim 200 meters, _____ 90 years old.

3 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。

(1) 私は傘を持って行かなければなりませんか。(an umbrella / bring / do / have / I / to)?

(2) 彼らは毎日、庭の花に水をやらなければなりませんでした。

(every / in the garden / had / the flowers / they / to / water) day.

(3) 私は、彼らは明日ピクニックに行かないと思います。

(a picnic / don't / go / I / on / that / they / think / will) tomorrow.

(4) あなたは、トムは新しいコンピューターを買ったと思いますか。

(bought / do / that / think / Tom / you) a new computer?

(5) あなたはそんなに心配する必要はありません。

(don't / have / so much / to / worry / you).

Step 2

学習時間 20分

1 次の英文の下線部の誤りを直して、全文を書きなさい。

(1) Because it was raining, my aunt didn't take her umbrella.(2) Do you think that did he read the letter?(3) My little sister didn't know that one and one was two.(4) Please come to my house if you will be free next Saturday.(5) I thought that my brother will buy a new video game.

2 次の英文を、カッコ内の指示にしたがって書き換えなさい。

(1) If you go to the park, you can take a break there. (and を使ってほぼ同じ意味の文に)

(2) I have to write a report in English now. (now を last night に変えて過去の文に)

(3) Tom has to help his parents now. (「…する必要はない」という意味の否定文に)

(4) We must read all the books there. (文末に next year を補って未来を表す文に)

(5) Shall we do our homework together? (let's を用いて同じ内容を表す文に)

(6) Why don't we go to that new coffee shop? (shall を用いて同じ内容を表す文に)

3 次の表を見て、例にならい、それぞれの人物のある日の行動や予定を英語で書きなさい。

例	Ken	because / hot / yesterday	プールに泳ぎに行った
(1)	Bob	if / sunny / tomorrow	ビーチに行くつもりだ
(2)	Janet	because / rainy / yesterday	家にいて本を1冊読んだ
(3)	Kayo	though / cold / yesterday	リサ (Lisa) とハイキングに行った

例 Ken went swimming in the pool because it was hot yesterday.

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____

Step 3

学習時間 15分

1 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。ただし、足りない語を1語補いなさい。

(1) 君のタブレットが動かないなら、僕のをを使っていいよ。
(can / doesn't / mine / use / work, / you / your tablet).(2) マイクはその会議に出席する必要はありません。
(attend / have / Mike / the meeting / to).

2 次の日本語の下線部を英語に直しなさい。

A : (1) ジョンはすぐに来ると思う?B : (2) 2時に来るって言ってたよ。 (3) 僕が電話してみようか。A : (4) いや、やめておこう。 もう少し待とう。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____

Step 4

学習時間 15分

次の質問に、あなた自身の立場で理由なども含めて30語程度の英文で答えなさい。英文の数はいくつでもかまいません。

質問 : If you are free all day next Sunday, what will you do?

- _____
- _____
- _____

Hints

study English / go swimming / read / watch videos / practice tennis /
go to the amusement park



次は、加藤先生と生徒たちの会話です。この英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Ms. Kato: If you take your mobile phone with you, keep it off* during the volunteer work. Please talk with the elderly people as much as you can* because it will be a wonderful experience for you. Do you have any questions about next week's volunteer work?

Ken: ア (Must / Will) we have to wear our uniforms to the nursing home*?

Ms. Kato: No. Anything* is fine. You can wear jeans and a T-shirt.

Larry: イ (Will / May) I bring my guitar? I'd like to play the guitar and sing for the people there.

Ms. Kato: Oh, ① that's a great idea. Do you need any help?

Larry: Yes. If anyone* can play a musical instrument, please join me.

Yuka: ウ (Shall / Will) I play the piano?

Mary: エ (can / must) sing, too.

Larry: That will be nice! ② (enjoy / hope / I / our / people / the elderly) music.

Ms. Kato: Yes. ③ If you play famous songs, the elderly people can sing along*.

So, オ (may / will) you write out* the words to the songs and copy* them for everyone?

Ken: カ (Shall / Will) we do that together after school today?

Mary: Yes, let's.

注) keep ~ off = ~の電源を切っておく as much as you can = できるだけたくさん

nursing home = 老人ホーム anything = 何でも, どれでも anyone = 誰か

sing along = 一緒に歌う write out = ~を書く copy = ~のコピーをとる

(1) ア~カのカッコ内から適当な語を選んで書きなさい。

ア _____ イ _____ ウ _____

エ _____ オ _____ カ _____

(2) 下線部①が表す内容を具体的に日本語で説明しなさい。

(3) 意味の通る英文になるように、カッコ②内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。

(4) 下線部③を日本語に直しなさい。

(5) 次の質問に英語で答えなさい。

(i) Do the students have to keep their mobile phones off during the volunteer work?

(ii) What are the students going to do after school today?

文の要素を理解し、「何が何をどうする」を伝える表現を学ぼう。

3-1 Key Point

◆ 文の構造 (S + V / S + V + C / S + V + O)

読んでみよう p.36 Basic ① ~ ③

例文 □ ① Shun swims very fast.

□ ② My sister is seventeen.

□ ③ Lisa has a cat.

POINT

■ 英語の文は、主語・動詞・目的語・補語という「文の要素」の組み合わせによって構成されている。

■ 文の要素以外の語(句)を修飾語(句)という。

① (S + V) Shun swims very fast.

S V 修飾語句(副詞句)

(訳 シュンはとても速く泳ぎます。)

② (S + V + C) My sister is seventeen.

S V C

(訳 私の姉(妹)は17歳です。)

③ (S + V + O) Lisa has a cat.

S V O

(訳 リサはネコを飼っています。)

英文を構成する要素(文の要素)には、主語(S)、動詞(V)、目的語(O)、補語(C)がある。文の要素を使って文の構造を表すことができる。

また、より詳しい情報を補うために文の要素以外の語(句)がつけ加えられることがある。このような語(句)を修飾語(句)という。

文の要素

主語 (S)	文の主題になるもの(「~は、~が」)。主語になるのは名詞や代名詞など。
動詞 (V)	主語の動作や状態について述べるもの。
目的語 (O)	動詞が表す動作や状態の対象になるもの(「~を、~に」)。目的語になるのは名詞や代名詞など。
補語 (C)	主語と動詞だけでは文の意味が不完全な場合に、意味を補うもの。補語になるのは名詞や代名詞、形容詞。

◀ (S + V) を第1文型、(S + V + C) を第2文型、(S + V + O) を第3文型とすることがある。

◀ 修飾語(句)には、動詞や形容詞、ほかの副詞などを修飾する副詞(句)と、名詞や代名詞を修飾する形容詞(句)がある。

◆ (S + V + C) の文 (第2文型)

読んでみよう p.36 Basic ④

例文 □ ④ John looks happy.

□ ⑤ My uncle became a pilot.

POINT

■ (S + V + C) の文では、「主語(S) = 補語(C)」の関係が成り立つ。

④ John looks happy.

S V C

(訳 ジョンは幸せそうに見えます。)